



開校4年目
チーム谷和原
Well-being Elementary School

いばらき教育プラン（茨城県総合計画より）

学校運営協議会・青少年
育成つくばみらい市民会議
谷和原支部 協賛

【つくばみらい市学校教育目標】

- 個性と創造性に富み、確かな学力を身につけた“みらい”の子を育てる。
- グローバルな視野をもち、郷土愛に満ちた“みらい”の子を育てる。
- 心身ともに健康で、自他を大切にできる“みらい”の子を育てる。

【本県教育の目標】
ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
郷土を愛し 協力し合う心を育てる
[すべての子どもの可能性を引き出す活力ある学校づくり]

学校・保護者・地域が一緒に活動できる組織へ

子供たちのよりよい教育活動を実現するために、保護者・学校運営協議会・青少年育成会が一体となり、連携を図る。

学校教育目標
笑顔で学び続ける子供の育成

めざす学校像
子供たちが主役、思いやりがあふれる学校

めざす児童像・姿

共に学び合い、高め合う子（徳）笑顔・思いやり・感動する姿
自ら考え、行動できる子（知）目を輝かせて意欲的に学ぶ姿
安全を考え、元気に生活できる子（体）健康で元気に身体を動かす姿

めざす教師像

- ・笑顔・あいさつ、使命感を大切にできる教師
- ・児童一人一人に寄り添える教師
- ・専門性を高めることのできる教師
- ・チームの一員として活躍する教師
- ・自らの Well-being を体現できる教師

本年度の重点

豊かな心の育成

- 基本的な生活習慣の育成
 - あいさつ、返事の徹底 □時間を意識した行動(ノーチャイム)
 - 早寝・早起き・朝ご飯の習慣
- ※数値目標(学校評価:児童)「自分から進んで挨拶をする」90%
- ※数値目標(学校評価:保護者)「谷和原小の児童は挨拶ができる」90%
- 特別活動の充実 □自己決定の場を確保した話し合い活動の充実
 - 異年齢集団活動の充実(縦割り班活動)
 - 体験活動の充実(外部講師活用)
 - 他学校児童との交流を通じた人間関係づくり
- 道徳教育の充実 □考え、議論する授業展開の工夫
- 夢について考え、多様性を認め合う環境づくり
 - 自己肯定感・自己有用感を向上させていくための学級経営
 - 自分らしい生き方(自立)を実現していくための学級経営
- ※数値目標(学校評価:児童)「自分にはいいところがある」90%
- 規範意識と思いやりの醸成 □場に合った適切な言葉遣い
 - 一人一人の存在を認め大切にする活動
(人権フォーラム、「児童のやってみよう」の賞賛等)

学力の向上・授業改善

- わかる授業・楽しい授業の展開 ※学びの伴走者としての意識
 - 学習規律の定着 □課題設定の工夫 □課題解決能力の育成
 - 協働的な学び(場に合った話し合い、アウトプット)の充実
 - まとめ・振り返りの充実(学べた・分かったの実感)
 - 論理的思考力の育成
- ※数値目標(学校評価:児童)「授業が楽しい・分かる」80%
- 個別最適な学習手段の開発
 - 一人一人に効果的な学習方法(自由進度学習・ICTの活用等)
- 自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実
 - インクルーシブ教育 □合理的配慮 □自立活動 □ケース会議
- 各種テスト及び調査の活用
 - 学力向上プランの活用 □誤答からの授業づくり
- 読書活動の推進
 - 授業における図書活用の推進(学校司書との連携)
- ※数値目標(実態調査:児童)「年間50冊読書を行った」60%
- やりがいのある仕事へ □教職に対する責任感の育成
 - 校内研修の充実(相互授業参観・指導案検討会等)
 - 自己研修の充実(「やってみよう」の実践・プラントの活用等)

体力の向上

- 体力向上を目指した取組
 - 体育授業の充実 □外部講師の活用
 - 体力向上に結びつく体育的行事
- ※数値目標(児童)「体力テストA+B」50%
- 健康教育の充実
 - 食育の充実 □外部講師を活用した授業
 - 保健指導に関する家庭との連携
- ※数値目標(栄養教諭)「食育授業」年6回実施

保護者・地域との連携

- 開かれた学校へ
 - 保護者、地域への積極的な情報発信(学校HP、学校だより、保健だより等)
- ※数値目標(学校評価:保護者)「学校は進んで情報発信している」90%
- 計画的な学校公開の実施
- 保幼小中連携の推進
- 地域の伝統文化行事への参画
- 学校行事の地域住民への周知
- 学校評価を参考にした学校改善
- 学校運営協議会との連携
- ※数値目標「学校運営協議会との熟議」3件以上
- 共に児童を育てる意識の高揚
 - 教育相談の充実
 - 学習ボランティア、外部講師の活用
 - 保護者参加型の授業実施
 - 学年懇談会の工夫(受け身からの脱却)
(保護者の意識改革)

安心・安全の確保

- 児童の居場所確保
 - 教育相談の充実 □学級経営の充実
 - 教職員の人権意識の高揚
- ※数値目標(学校評価:児童)「学校が楽しい」90%
- ※数値目標(学校評価:保護者)「楽しく学校に登校している」90%
- 感染防止、安全対策の徹底
 - 学校保健委員会の開催(年3回)
 - 交通安全の徹底 □感染症予防の習慣化
 - AED研修の実施(教職員・児童)
 - 感染症予防の習慣化
 - 地震・防災・不審者への対応能力の育成
- 学校、施設の安全徹底
 - 計画的かつ定期的な安全点検(盗撮用カメラの有無の点検・施錠の徹底等)
 - 食物アレルギー事故の根絶
 - 危機管理マニュアルの定期的な見直し

教員の健康・福祉の確保

- 働きがいのある職場へ
 - 働き方改革の推進(推進チームの活用)
 - 時間外勤務4.5時間未満/月
 - コンプライアンスの高揚(不祥事根絶)
 - 各種会議の時間縮減
 - 複数による校務分掌の分担
 - ペーパーレス化 □教科担任制(一部)
 - 計画的な年次休暇取得
 - 空き時間の有効活用(教材研究等)
- ※数値目標(学校評価:教職員)「働きがい、働きやすい職場である」90%

